

経営比較分析表（平成29年度決算）

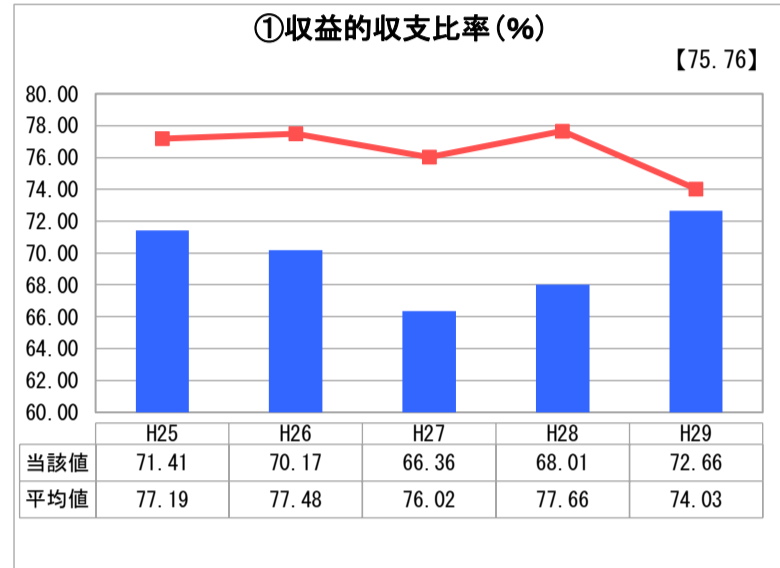
福井県 越前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.75	2,800	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
22,018	153.15	143.77
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
21,838	7.90	2,764.30

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



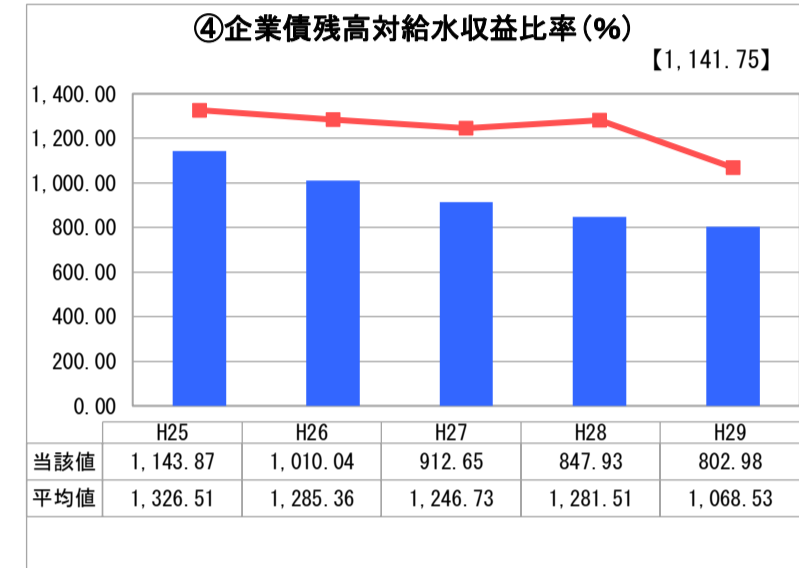
「単年度の収支」



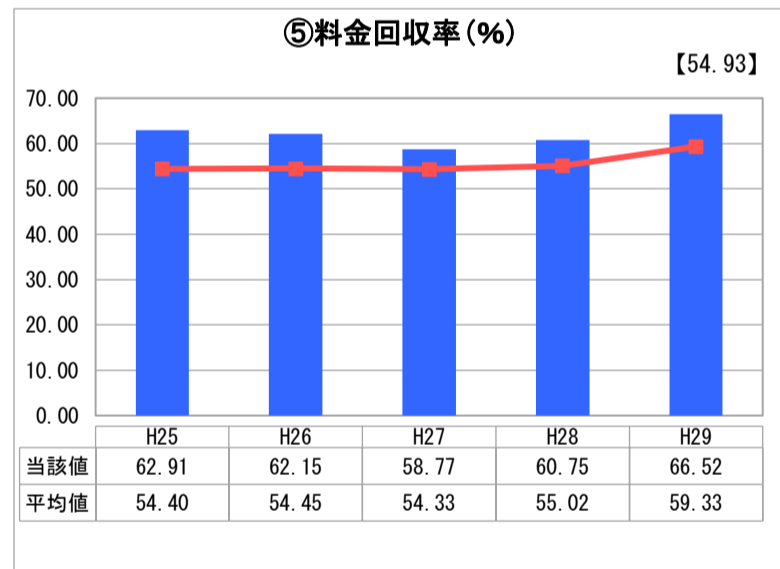
「累積欠損」



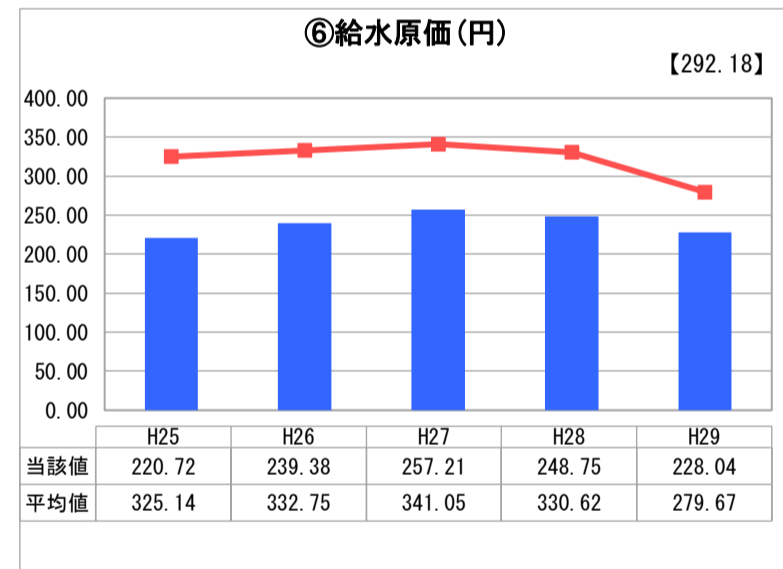
「支払能力」



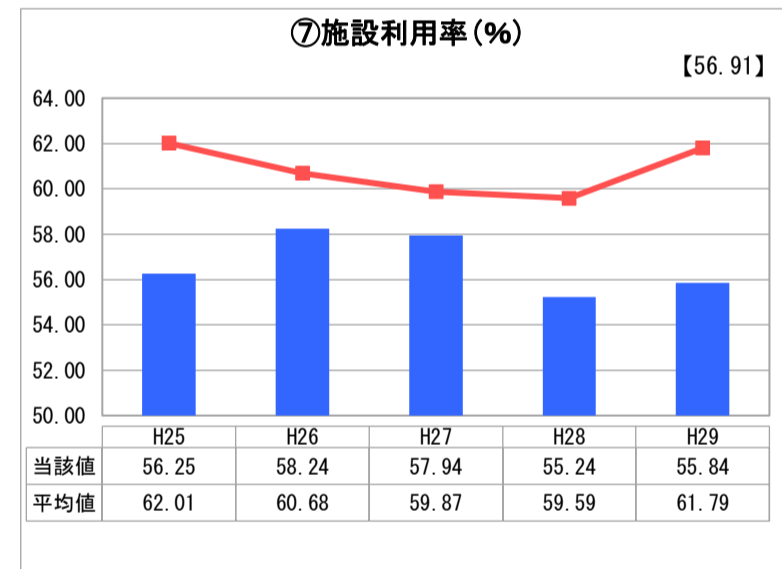
「債務残高」



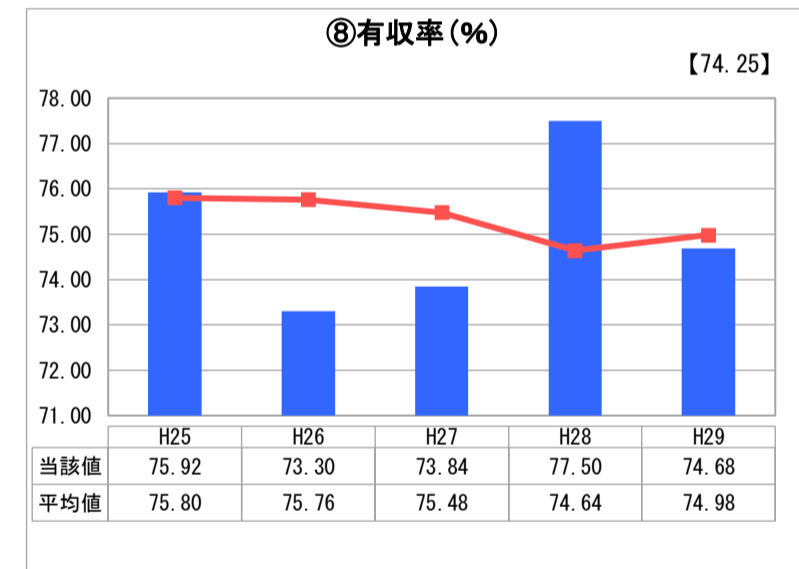
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

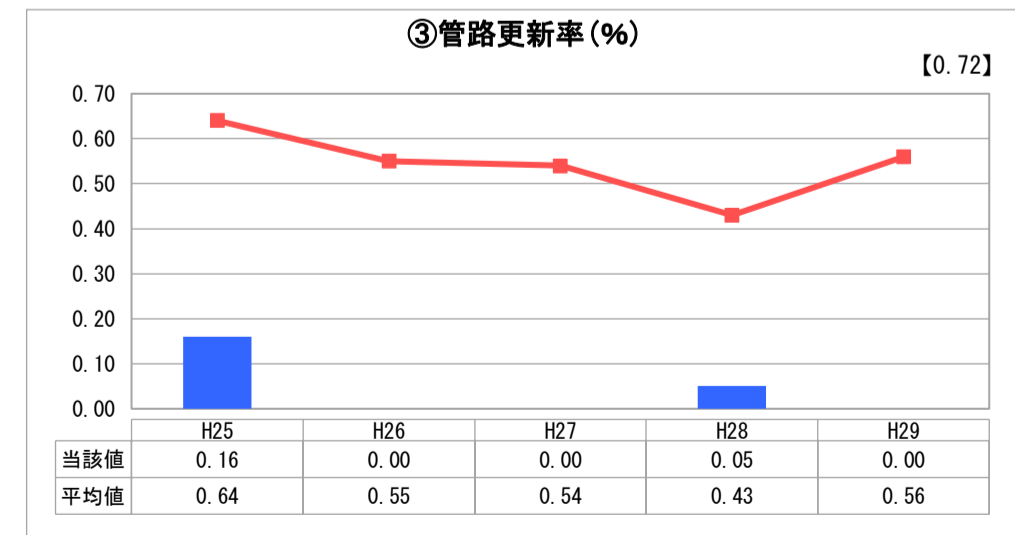
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、地方債元利償還金の財源を一般会計負担金に依存しており、平成29年度は72%とほぼ類似団体平均で推移する結果となったが、⑤料金回収率については66%と平均を上回っている。

また、④企業債残高対給水収益比率から見ると、当町の簡易水道区域に関する施設整備が早かったことや、区域の一部を平成23年に上水道事業区域へ編入したことで、企業債の残高が減少している。しかし、必要な更新については、継続的に実施していく必要がある。

⑥給水原価については、類似団体平均を下回っているが、施設の老朽化は加速しつつあることから、引き続き適切な更新を実施していく必要がある。

⑦施設利用率については、類似団体の平均を下回っていることから、施設利用の効率性を改善する必要がある。

⑧有収率から見ると、平成28年度に比べ減少しているものの、類似団体平均並みという結果となった。漏水率が非常に高く30%を超えている現状から、今後は漏水調査結果を踏まえ、修繕を実施していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

当町では、③管路更新率から見ると、類似団体平均を大きく下回り、過去5年間では、平成25年と平成28年の2カ年のみの更新となっている。平成17年の町村合併から、12年が経過しているが、旧4町村の老朽化した施設が多く実在しており、管路についても、布設年度すら完全には把握できない状態である。また、漏水率が非常に高く30%を超えていることから、今後は漏水調査結果に基づき管路修繕を実施していく必要がある。

全体総括

当町の給水率は99%を超えているが、平成17年町村合併から12年が経過した現在、施設の老朽化や人口の減少等を踏まえ、自主財源の確保や効率の良い事業運営が必要とされている。

今後は、長期的視野に基づき、計画的に簡易水道事業区域施設の統廃合や、料金改定等の施策を実施していく必要がある。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。